

子どもの心の回復のために、イベントを通じて教師・保護者・地域の連携を！
子どもの日常の回復こそ、心の回復への道！

PTG

子どもの心の回復

—豊間小学校子ども映画学校—



いま、いじめ・虐待・家庭内暴力といった事案が
子どもたちを取り囲んでいます。
いじめる側にも、いじめられた側にも生まれる心の傷。
虐待をした者にも、虐待された者にも、残される深い心の傷…。
トラウマとなった子どもたちの心の歪みをどう回復していくか。
いま注目を集めるPTG(外傷後成長)で子どもの心の回復を！

上映時間20分 [C#7499]
DVD 本体価格 66,000円(税抜)



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

PTG 子どもの心の回復

—豊間小学校子ども映画学校—

企画 意図

被災地では、子どもの心のケア、PTG（Posttraumatic Growth 外傷後成長）の取り組みが行われています。被災地の小学校で実施された子ども映画学校。それは子どもたちに傷ついた心と向き合い、地域を見直し、明日への希望や夢を与えるものでした。いじめ、児童虐待、家庭内暴力…傷ついた子どもの心になにが必要か。被災地の取り組みを通じて学びます。

内容

福島県いわき市立豊間小学校。そこは、豊間・沼ノ内・薄磯の3地区の子どもたちが通う小学校です。2011年3月11日の東日本大震災で、巨大津波がその海岸を襲いました。福島県で最大の死傷者を出した地域です。被災から1年後、小学校は再開しましたが、地域の大半が失われ、地域を離れた子どももいます。



心のケアのためには、なによりも子どもたちの当たり前の日常を回復することだ…水谷大校長先生の願いは、総合学習の中のキャリア学習のひとつとして子どもたちに映画づくりを体験させることでした。

映画制作を通じて、大人たちの仕事にふれ、教師・保護者・地域の高齢者・復興協議会の人々の見守りとサポートによって、児童たちは、自分の地域への誇り、そして自分自身への誇りをよみがえらせました。そして、自分が抱えている心の傷を見つめ始めたのです。



いじめや虐待といった子どもたちにふりかかる心の傷。そこに保護者・教師・地域がどう関わり合っていけばいいか。その時の留意点や配慮として必要なことは何なのか…。

NPO法人ふくしま震災孤児・遺児をみまもる会理事・保育園長の阿邊みどり先生が、豊間小学校の取り組みを参考に、子どもの心の回復について解説します。